

責任者・コーディネーター	小児科学講座 赤坂 真奈美 教授				
担当講座・学科（分野）	小児科学講座				
担当教員	赤坂 真奈美 教授、石川 健 特任教授、外館 玄一郎 特任准教授、鳥谷 由貴子 講師、和田 泰格 講師、中野 智 講師、松本 敦 助教、三浦 翔子 助教、田金 星都 助教、小野寺 千夏 助教、八鍬 瑛子 助教、吉田 太郎 助教(任期付)				
対象学年	3	区分・時間数 (1コマ2時間計算)	講義	13コマ	26.0時間
期間	後期		演習	0コマ	0.0時間
			実習	0コマ	0.0時間

・学習方針（講義概要等）

小児科学は、成長と発達の過程にある小児を対象として、その身体と心の問題を扱うものである。従って、その領域はきわめて広く、胎児期、新生児期から思春期までのすべての医学領域の知識が求められる。学生は30分以上の事前学習と、60分以上の事後学習をすることで講義内容の定着を図り、臨床実習に備えます。

・教育成果（アウトカム）

学生は、自主学習と各専門医から講義を受けることで、胎児期から思春期にわたる様々な疾患について、概念と病歴、身体診察所見、検査所見の評価および診断過程、問題解決へのアプローチ、重症度の評価、治療法、起こりうる合併症を自ら考え述べるようになる。学生は、社会における日本の小児医療の特徴と問題点を述べるようになる。

(ディプロマ・ポリシー： 1,2,3,4,5,6,7,8)

・到達目標（SBOs）

No.	項目
1	新生児疾患の要点を説明できる
2	血液・免疫・感染症・腫瘍について鑑別し要点を説明できる。
3	成長や発達について説明できる。
4	先天性心疾患について説明ができる。
5	小児に多い消化器疾患について説明できる。
6	腎・泌尿器疾患について説明できる。
7	小児のバイタルサインや救急疾患についてで説明できる。
8	精神疾患や神経筋疾患について説明できる。

・講義場所

講義：東1-C講義室

・講義日程（各講義の詳細な講義内容、事前・事後学習内容、該当コアカリについてはwebシラバスに掲載）

区分	月日	時限	講座（学科）	担当教員	講義内容	到達目標番号
講義	11/7(金)	1	小児科学講座	石川 健 特任教授	小児の診察法 ・系統的診察 ・バイタルサイン ・成長発達総論 ・救急疾患	1,2,3,4,5,6,7,8
講義	11/7(金)	2	小児科学講座	鳥谷 由貴子 講師	新生児疾患 ・染色体異常 ・単一遺伝子病 ・片親性ダイソミー ・奇形症候群	1,2,3,4,5,6,7,8

講義	11/17(月)	1	小児科学講座	松本 敦 助教	新生児疾患 ・分類・生理・蘇生 ・成熟度 ・新生児に特有の疾患 ・high for date児	1,2,3,4,5,6,7,8
講義	11/17(月)	2	小児科学講座	中野 智 講師	循環器疾患 ・先天性心疾患 ・不整脈 ・管理	1,2,3,4,5,6,7,8
講義	11/19(水)	1	小児科学講座	三浦 翔子 助教	原病 ・アレルギー反応の分類と疾患 ・生体防御 ・免疫の発達 ・膠原病の鑑別	1,2,3,4,5,6,7,8
講義	11/19(水)	2	小児科学講座	和田 泰格 講師	内分泌・代謝疾患 ・低身長・意識障害 ・マスキングの異常 ・性分化疾患	1,2,3,4,5,6,7,8
講義	11/25(火)	1	小児科学講座	外館 玄一朗 特任准教授	感染症 ・発熱、嘔声、咳嗽 ・頸部腫瘍、咽頭痛	1,2,3,4,5,6,7,8
講義	11/28(金)	1	小児科学講座	中野 智 講師	循環器疾患 ・酸素飽和度異常 ・心雑音	1,2,3,4,5,6,7,8
講義	11/28(金)	2	小児科学講座	田金 星都 助教	消化器疾患 ・嘔吐、血便 ・発熱、腹痛	1,2,3,4,5,6,7,8
講義	12/5(金)	1	小児科学講座	吉田 太郎 助教(任期付)	血液・腫瘍性疾患 ・倦怠感 ・腰痛、疲労感 ・白血球、貧血、出血	1,2,3,4,5,6,7,8
講義	12/5(金)	2	小児科学講座	小野寺 千夏 助教	腎疾患 ・発熱、浮腫 ・浮腫 ・ネフローゼ症候群、腎炎 ・先天奇形	1,2,3,4,5,6,7,8
講義	12/18(木)	1	小児科学講座	八鍬 瑛子 助教	精神・心身医学的疾患 ・ADHD ・神経発達症 ・てんかんと救急対応 ・発達と反射	1,2,3,4,5,6,7,8
講義	12/18(木)	2	小児科学講座	赤坂 真奈美 教授	神経筋疾患 ・総論と各論 ・虐待	1,2,3,4,5,6,7,8

・教科書・参考書等

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
推薦図書	標準小児科学 9版	原 寿郎 監修	医学書院	2022
参考書	Nelson Textbook of Pediatrics, 21th ed.	Kliegman RM, et al.	Elsevier	2020
参考書	Case Files小児科	大石公彦総監訳	診断と治療社	2022

・成績評価方法

【総括評価】 進級試験成績（100％）で評価し、100点満点の60点以上を合格とする。 【形成的評価】 講義担当者によっては小テストを実施して講義内容の理解度を確認し、その結果を学生にフィードバックする。 実習中の口頭試問および毎時間の実習内容等をまとめたポートフォリオを評価し、学生にフィードバックする。

・特記事項・その他

診察法	1回	小児の診察法、小児期の呼吸数、脈拍数、血圧の基準値
新生児疾患	1回	新生児の分類・生理・蘇生法・管理法、成熟度評価法、呼吸窮迫の鑑別、低出生体重児、マイクロバブルテスト
先天異常	1回	単一遺伝子病の種類と特徴、染色体異常症、片親性ダイソミー、奇形症候群、light-for-dates児の分類と合併症
内分泌・代謝疾患	1回	低身長、内分泌疾患の症候と鑑別、意識障害の鑑別、マスキング、先天代謝異常症の症候と鑑別、性分化・成熟異常
アレルギー・免疫疾患	1回	生体防御機構、免疫系の発達分化、免疫学的検査、免疫疾患、アレルギー反応の分類、アレルギー疾患の診断と治療
膠原病等	1回	膠原病と類縁疾患の診断と治療
感染症	1回	発疹性疾患の鑑別と合併症、感染性疾患、予防接種、学校伝染病、リンパ節腫脹、呼吸器疾患、呼吸困難の鑑別、酸素・人工換気の適応
循環器疾患	1回	動脈管依存性心疾患の分類と鑑別、心疾患の症候と鑑別、心不全の診断・治療、小児心電図の判読、不整脈
消化器疾患	1回	消化器疾患の症候と鑑別、緊急の診断・治療が必要な消化器疾患
血液・腫瘍性疾患	1回	血液疾患の症候と鑑別、貧血の鑑別、白血病・腫瘍性疾患の診断・治療
腎疾患	1回	腎機能検査、腎疾患の症候と鑑別
神経・筋疾患	1回	母子感染、年齢による細菌感染症の特徴、神経疾患の症候と鑑別、けいれんの鑑別と治療
精神・心身医学的疾患	1回	小児の成長・発達・栄養の評価と異常を来す疾患、健診の月齢別重点項目、言語発達遅滞の鑑別、発達障がい、心身症
救急疾患	1回	小児の救急疾患、特に誤嚥、誤飲、薬物中毒、溺水、熱傷、熱中症、虐待の発生状況と治療方針、予防

シラバスに記載されている事前学修内容および各回到達目標の内容について、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。なお、適宜、講義・実習冒頭で事前学修内容の発表時間を設け、授業の中で試験やレポートを課す場合は、次の授業で解説を行う。授業では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。講義資料はWebClassで配信する。

当該科目に関連する実務経験の有無 有
大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・教育資源

教科書、講義室、PC、シュミレータ

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	パソコン	1	症例・スライド作成
講義	タブレット兼ノートパソコン Surface Go 一式	1	講義にて使用
講義	デスクトップパソコン 一式	1	講義にて使用